

ハンドボール  
広島県

5

(財)日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 107 No. D⑧  
(16名用)

スローオフチーム

A 岐阜県	廣島県	B
20	11 14	27
9 13		

確認サイン

確認サイン

A 収録者  
7mTC 戸田政3G B

大会名	第67回国民体育会 挑戦流国体				
年月日	2012年10月5日(金) 場所 挑戦流国体				
種別	成年	男女	回戦	第1回戦	準決 決 リーグ

A 岐阜県	警 告	退 場	失 追	チームタイムアウト	
				前半	後半
役員A				18	39
役員B				11	50
役員C					24
役員D					47
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合計				11	9 20

B 広島県	警 告	退 場	失 追	チームタイムアウト	
				前半	後半
役員A				26	51
役員B					
役員C					
役員D					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合計				14	13 27

A	前 半		B		A	後 半		B	
	背 番	結 果	得 点	時 間		得 点	背 番	結 果	得 点
0 W	0	32	1	9	9	12	1	21	8 11
1 L	1	48	2	10	6	13	1	50	5 9
2 L	1	38	1	W 2		2	38	15	3
3 W	10	25	32	W 3	3	⑧	4	59	
4 W	6	08	3	10			6	33	16
5 L	7	20	4	11			7	04	7
6 L	4	38	6		6	14	1	44	
7 W	9	54	⑧	4	5	15	9	25	
8 L	10	10		9	10	10	19	16	
9 L	11	37	3		11	44	20		
10 L	4	12	13		11	50			
11 L	5	13	04	W 7	①	11	21	5	
12 L	6	14	52		12	21	21		
13 L	15	32	6	10	13	18			
14 L	16	19	7		15	53	23	10	
15 L	17	9	18		17	01	23	7	
16 L	①	18	39		18	17	39	5 6	
17 L	9	19	14		19	46	24		
18 L	9	19	7		19	19	48		
19 L	20	33	10	10	20	34	28	5	
20 L	3	8	21	39	3	19	23	27	
21 L	2	8	22	10	①	24	37		
22 L	22	23	71	10	9	25	12		
23 L	23	08	12		27	43	26	7	
24 L	6	9	23	37	24	03	29	27	6
25 L	9	10	25	38	25	25	27		
26 L	9	11	26	55	①	27	13	34	
27 L	26	37			27	13	34		
28 L	11	27	13	34	2				
29 L	11	-	14						

特記事項
------

タイムキーパー 尾関俊彦 スコアラー 飯島聖一郎  
マッチハイター 音羽良彦 審判員 サイン 審判員 サイン

① (主催者用)

日本ハンドボール協会版-不許複製

## ハンドボール 結果報告

No. 108

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日(金)	試合記号	D8	回戦	1
種別	成年男子	会場	飛騨市桜ヶ丘体育館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
岐阜県			広島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	11	前半	14	27	
	9	後半	13		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

## 【戦評】

記載者氏名 吉安 秀光

開催地である岐阜県と日本リーグチームメンバーで固めた広島県との対戦。広島県のスローオフから試合開始。広島県は9番新のミドルシュート、10番佐藤のサイドシュートで2得点を上げる。一方岐阜県も5番宮崎のステップシュートや10番山下のポストシュートで2得点を上げる。その後、互いに6-0からのプレスディフェンスと互いのキーパーの好守で一進一退が続くが、12分過ぎから岐阜県は4番山越のサイドシュート、10番山下のポストシュートが連續で決まり6対6まで追い上げる。しかし15分過ぎ広島県は7番谷村のサイドシュートや9番新の速攻で3連続得点を上げる。岐阜県は流れを変えようとタイムアウトを取り、3番伊藤のミドルシュートで得点を上げるも、退場者を出し、広島県の4番樋口のミドルシュートや8番木村のポストシュートで24分には9対13と広島県がリードを広げる。一方岐阜県は9番名嘉の連続サイドシュートで追い上げ、前半を11対14の広島県リードで終了する。

後半開始、広島県は退場者を2名出すものの、岐阜県の攻撃を1点に抑え、その後9番新の速攻などが決まりリードを広げる。7分過ぎからは一進一退の攻防続く。12分には15対20となった所で岐阜県がタイムアウトを取る。しかし流れは変わらず、5番宮崎の連続7メートルスロー、9番名嘉のミドルシュートなどで得点を加えるが、広島県の4番樋口の速攻や6番中浦のミドルシュートなどでリードを広げ、広島県は20対27で準々決勝に駒を進めた。